

奈良県香芝市バリアフリー基本構想(R2.3改訂)

人口:79,197人(R2時点) 面積:24.26km²

基本情報

<趣旨>

・従前のバリアフリー基本構想（H25.3策定）の策定から見直し目安とされている5年が経過したこと、**社会情勢の変化や法改正の内容に応じた計画とすること、事業内容のスパイラルアップに繋げることを目指し、改訂を行った。**
・上位計画や関連計画との整合を図るとともに、**市民及び関係者との協働によるバリアフリー化を進めていく際の「基本的な考え方」を示すもの**としている。

<方針>

○基本理念

「誰もが安全・安心、快適に移動できるひとにやさしい都市（まち）づくり」

○基本方針

- ・すべての人が安心して快適に活動できるまちづくりの推進
- ・重点的・効果的なバリアフリー化の推進
- ・市民の参画・協働によるまちづくりの推進
- ・心のバリアフリーの促進

作成するにあたって

<作成過程>

・香芝市バリアフリー推進協議会の審議を経て、R2.3に改訂を行った。
会議体は、香芝市バリアフリー推進協議会（4回開催）
・業者に委託せずに市職員が計画作成を行ったため、**疑問点は国土交通省から示されているガイドラインや他市町村の基本構想等を参照。**
・重点整備地区であるJR香芝駅・近鉄下田駅・近鉄五位堂駅・市役所周辺地区内にある鉄道駅及び主要な経路について、高齢者、障害者、協議会委員の方などの参加のもと、**現地検調査及び意見交換会**を開催。
→参加者は2つのルートに分かれて異なる施設や経路について実際にまちの中を歩く現地検調査を行った後、その点検結果について整理し、各ルート2グループずつに分かれ発表。

<当事者の意見を反映させるために工夫した点>

・協議会に各当事者団体の代表者を委員にし、意見聴取を積極的に行っている。現地検調査や事業内容等について意見を聴き取り、**ニーズを計画に反映させるようにしている。**

<作成にあたり苦慮した点>

・バリアフリーは多岐にわたる業務内容であるため、担当部署と異なる分野が盛り込まれていることもあり、苦慮した。
・計画策定の業務委託費の**予算確保**が難しかった。
・現地検調査、意見交換会等の各事業者との調整。事業者によって積極性が異なるため、**消極的な事業者との調整には特に苦慮した。**

重点整備地区

○JR香芝駅・近鉄下田駅・近鉄五位堂駅・市役所周辺地区

・選定理由

- ①JR香芝駅・近鉄下田駅は近接しており、相互乗り換えが可能な距離。
- ②近鉄五位堂駅は、市域を超えた広域駅勢圏を抱える本市最大の旅客施設となっている。
- ③市役所の周辺には、文化センター、福祉センター、中央公民館、総合体育館、郵便局、警察署などの行政・文化・福祉施設が集積。
- ④香芝市都市計画マスタープランにおいて、都市拠点やにぎわい拠点に位置付けられた区域を含んでいる。

策定後の動き

・バリアフリー整備の補助金活用を含め、**予算が確保しやすくなった。**
・バリアフリー化に関する意識が向上し各事業者に責任感が生まれた結果、**事業者へ働きかけを行いやすくなり、重点整備地区内の鉄道駅のバリアフリー化が進み、市内の面的なバリアフリー化へと繋がった。**

<これから作成する市町村へのアドバイス>

・計画を策定する際はガイドラインや他市町村の基本構想等の先行事例を参照すると良いと思う。
・市内部組織、国や県等の外部組織、学識経験者や当事者団体との**事前調整、連携**が計画策定後の事業実施を推進するためには重要なこと。